

# そうじの力だより

VOL.225



## 支援レポート

自分たちの職場を自分たちで良くしていく  
〜 整理整頓から創意工夫へ

大分県大分市の株安東石材店。創業九〇年、二代目社長が経営する、社員一三名の会社です。

ここで、一年ほど前から、弊社のお手伝いにより、環境整備の活動が進められています。

当初は、とにかくモノが多く、以前から使っていたすべてのものを取ってある、と言う感じでした。

特に、本店に併設されている加工場内はメチャクチャで、多くの機械が設置されているもの、中にはまったく動かしていないものあり、ホコリを被つて放置されています。

石材、や資材、道具なども、多くが工場内の床面に直置きされており、足の踏み場もないほどでした。



活動スタート前の乱雑な工場内

これでは動線が悪いだけでなく、つまづいたり引つ掛けたりして危険です。これまでに大きな事故やケガがなかったのは、単に運が良かっただけでしょう。

とにかくまずは、捨てることからスタートしました。

工場では、長年稼働させていない大型の機械を一台廃棄しました。それに伴い、それらを設置していた建屋も不要になり、上物を解体して撤去。その跡地には、広い更地ができ、今後、有効活用していく見込みです。

不要な石材や資材、道具なども徹底的に捨てていき、工場の床面がクリアになり、棚などにも空間がひろがっていききました。

これにより、必要なものは、しかるべき棚などに収めることができようになり、てきました。



だんだんとスッキリ整ってきた工場内

本店事務所内も、一見整っているように見えて、よく見てみると不要なものがたくさんありました。

たとえば、更衣室と称した小部屋のロッカーの上部には、いまや由来のわからない紙袋が大量に積まれていたり、事務用品を収めてあるトレイには、とても使いきれない量のペンやテープなどが詰め込まれていて、これらも処分していききました。

そして、必要なものについては、使い

勝手をよくするため、置き場所を変えたり、表示と標識を施して、誰でも使った元に戻せるようにしていききました。

また同社は、他に二つの霊園を運営しており、こちらも同時並行で環境整備を進めています。

樹木葬霊園「千年オリーブの森大分東」は、オープンしたばかりでしたが、事務用品などが過剰にストックされており、適正在庫にすべく、必要数を明確にしていきました。

また、「誰でもわかる」ことを目指して、備品に表示と標識を施し、定位置化を進めています。



動物のシールを使ってファイルを定位置化

もう一つの「さくら陵苑」でも、倉庫内に乱雑に積まれていたものから、不



マーカーを、写真を使って整頓した

要なものを捨てて、必要なものは出来る限り壁掛け式にして整えました。



壁掛け式にして、道具を整頓した

こうした活動を一年間続けてきて、だんだんと、社員さんたちから、自分たちでこうしたいという意見が出てくるようになってきました。

たとえば、事務所のレイアウト。これまでの延長線上にある配置ではなく、理想的な姿を描いてみようということ、で、大胆なアイデアが出てきました。

工場のレイアウトも、現在、製造部のメンバーで、あれやこれやと練っている最中です。

これから、どんどんこうした自発的な提案が出てくると思います。

環境整備とは、単に整理整頓して場を整える活動ではなく、自発性を育て、創意工夫を育む活動なのです。

まだまだこれからが本番。一年後の同社が、どのような変化を遂げているか、楽しみです。  
(小早)



## コラム

「脳力」を開発する

「物事を成し遂げる原動力は、自分である。」

私は以前、師匠の方々に、「脳力開発」を教わっていました。

脳力開発とは、人間の持っている可能性を最大限に発揮し、イキイキと前向きで明るい人生を送れるように考え方や思考方法を学ぶ、自己啓発法です。

決して難しい理論体系ではありませんが、常に意識して根気よく繰り返し実践しなければ、身に着きません。

脳力開発の基本は、大きく「精神的姿勢の確立」「思考方法の整備」「実践知識の拡大」の三本柱から成り、それぞれいくつかの指針で構成されています。

今回はそのうち、一番大事な「精神的姿勢の確立」のエッセンスについて、簡単にご紹介します。

### 精神的姿勢の確立 第一項

「自分で主体的にやる姿勢をつくらう」

・物事を成し遂げる原動力は、あくまで自分である。

・自分以外は条件にすぎない。自分以外の他人や周囲条件に原動力を求める考え方は「人頼りの姿勢」である。

・原動力である自分が「すでにある条件」を使って「まだ足りない条件」を新たに作り上げていくことこそが、仕事の本質。

・これは、「自分でやる姿勢」と「人頼りの姿勢」との選択（決意）の問題である。

### 精神的姿勢の確立 第二項

「いつも進歩発展をめざす姿勢をつくらう」

・人生は常に、「進歩発展に向かう姿勢」と「現状に甘んずる姿勢」との闘いである

・進歩発展のコツは、「すぐできることからからすく始めること」「易しそうなところから手をつけていくこと」。

・失敗は悪いことではない。失敗は確実なる前進の一ステップである。

・ピンチはチャンス！常に前向きな言葉を使おう。

### 精神的姿勢の確立 第三項

「他人の利益もはかる姿勢をつくらう」

・人は一人では生きられない。物事は一人では成し遂げられない。

・「自分もよし、他人もよしの姿勢」をつくらう。

・人は誰でも短所を持っているが、長所も持っている。

・人は誰でも希望や意見はそれぞれ違うのが当たり前。

・原則（決意した方向性）以外は、なるべく譲れ。

・相手を変えようと思ったら、まず自分が変われ。

・何のためにそれをやるのか？使命感を保持。

社内環境整備を進める際に、抵抗勢力が出てきたりします。

そんなときに、ぜひ、この「脳力開発」の指針を思い出して、突破していただきたいと思います。

（小早）

## 編集後記

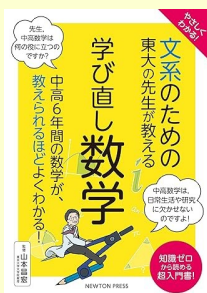
### 学び直し

小学校のときから数字が苦手な、典型的な文系人間です。

以前から、機会があれば、中高の数学を学び直したいと思っていたのですが、最適な本を見つけました。

この本をじっくり読んでみると、あの当時チンプンカンプンだった、三角関数や微分積分などが、とてもよく理解できるのです。

やはり、「どのような経緯で考案されたのか」「どのように役立つのか」「名前の由来は」といったことが分かって、無機質な数式がイキイキと輝いて見えてきます。（小早）



## 飛鳥のつばやき

### 人体摩訶不思議

「歯がいたい！」と大騒ぎし始めた6歳長男。

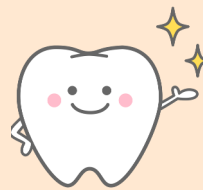
奥歯の向こう側に傷のようなものが見えたので、「口内炎かな？」と様子を見ていたら、なんと歯茎を突き破って新たな奥歯が！

6歳で、生え変わりでなく新しい歯が生えてくるということを知らず、ものすごくビックリ。

さらに歯のレントゲンを撮ったら、大人の歯が歯茎にスタンバイしていて（当たり前）、またまたビックリ。

人体ってほんと不思議…！

（大槻）



## 株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、  
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝環境整備」を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。（全国対応）